イベント

エントランスホールでのコンサートや名画上映会をはじめ、館内のさまざまな空間を使って有料、無料のイベントを多彩に展開します。

ミュージアムコンサート

■ 美術館の調べ

3月24日(+)

momo "PRAY for TOHOKU"

solo guitar LIVE

<演奏曲目 PRAY/You are my Hope/アルハンブラの思い出/戦場のメリークリスマス

<出演者のひと言>3月は、東日本大震災の事を思い出さずにはいられません。神戸は阪神・淡路大震災を乗りこえ、美しい自然と活気あふれる街に生まれ変わることができました。大災害を必ず乗りこえてみせるという皆の強い気持ちがあったからだと思います。東北にエールを、ギターの音色と皆さんの熱気で送りましょう!◎木村モモ(ギター。大阪音楽大学学部専攻科卒業。ジャズピアニストの父、きむらたくやと momo & papaピアノ・ギターデュオでデビュー。2014年フィンガーピッキングデイで日本一となり、2015年、2017年と世界大会(international finger style guitar championship)でTOP5に2度入賞)

■美術館の調べ

3月31日(+)

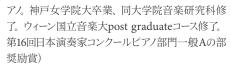
神田麻帆 ピアノリサイタル

<演奏曲目> ワーグナー=リスト「イゾルデーの愛の死」/ベートーヴェン「ピアノソナタ

エントランスホールにて 14:00 ~ 無料

第21番 ハ長調 作品53 『ワルトシュタイン』」 ほか

<出演者のひと言> さまざまな国、時代を生きた作曲家たち。その作品に込めた思いを、心をこめてお届けします。どうぞお楽しみください。◎神田麻帆(ピ



エントランスホールにて 14:00 ~ 無料

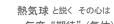
舞台芸術

■落語の会

3月25日(日)

県美亭ワンコイン寄席

~ワンコイン寄席 とかけて



毎度 "期待" (気体) がふくらみます!! ~ <口演演目> 露の吉次「はてなの茶碗」 柱文昇「天王寺詣り」

<**吉次のひと言>** 骨董品とかけて雑草と説く、その心はどちらも根(値)がはります。古い随筆集に原話があるそうですが、優雅な噺(はてなの茶碗)。お彼岸とかけて阪神タイガースと説く、その心は悲願(彼岸)の優勝、今年こそ!あの世とこの世をつなぐ観光ガイド的スケッチ落語(天王寺詣り)。

◎露の吉次(つゆの・きちじ。尼崎市出身。昭和62年露の五郎兵衛に入門) ◎桂文昇(かつら・ぶんしょう。大阪市出身。昭和59年五代目桂文枝に入門。平成10年四代目桂文昇襲名)

レクチャールームにて 14:00 ~ 500円 (当日13:00から販売)

増築工事などの都合により、各イベントの日程は 変更する場合がございます。 最新の情報は当館 ウェブサイトでご確認ください。

各主催者によるイベント

■神戸芸術工科大学卒展 カオス2018

○作品展示

2月9日(金)**~11日**(日・祝) 10:00~17:30 ギャラリー棟にて

○ファッションショー

2月10日(土)

①13:00 ~ ②15:30 ~ エントランスホールにて 入場料:無料 主催:神戸芸術工科大学 問合せ先:078-794-5025 (教務課)

■ 宝塚大学造形芸術学部卒業制作展・修了制作展 **2月16日**(金) ~18日(日)

10:00 ~ 17:00 ギャラリー棟にて 入場料:無料 主催:宝塚大学造形芸術学部 問合せ先: 072-756-1231

■ 第13回兵庫県障害者芸術·文化祭 美術工芸作品公募展

3月21日 (水・祝) ~25日 (日)

10:00 ~ 17:30 (最終日は14:00まで) ギャラリー棟 3階にて 入場料:無料 主催: 兵庫県障害者芸術・文化祭実行委員会 問合せ先: 078-341-7711 (内線 2833)

Largo 気まぐれコンサート with ゆかいな仲間たち3月21日 (水・祝) 14:00 開演 (13:30 開場)アトリエ1にて 入場料: 無料

主催:Largo 問合せ先:090-5133-4998

■ ACAH2018: 芸術、人文学関連国際会議

3月30日(金) 11:00開演 (10:30開場)

ミュージアムホールにて 要ウェブサイトによる事前予約

主催: The International Academic Forum (IAFOR) 問合せ先: acah@iafor.org









兵庫県美は、インスタ映えスポットがいっぱい!

建築、アート、展覧会の看板、そして海と山。兵庫県美はフォトジェニックな場所が目白押し。 展覧会とともに、美術館を丸ごと楽しもう!

#兵庫県立美術館

なぎさちゃんこと、サン シスター。威風堂々と 2ショットしよう。 安藤建築の撮影の鉄 板と言えば、円形テラ ス。 特別展ごとに撮影コーナーを設けることもあり

(写真は2016年藤田嗣治展)

季節と時間帯によっては、こんな瞬間に出会えるかも!

